

日生クラシックコンサート
※※※※※プログラム※※※※※

開演挨拶 日生町文化協会 会長 湯浅正治…………… 14:00～

楽団紹介 岡山県郷土文化財団 常務理事 高山雅之
演奏者 『倉敷管弦楽団』64名 指揮 『菊地 東』

演 奏
第 1 部 ①モーツァルト作曲 歌劇『魔笛』序曲 K.620…………… 14:05～

<楽器紹介・曲目紹介>

②モーツァルト作曲 ディヴェルティメント『嬉遊曲』ニ長調 K.136……………

<曲目紹介>

③ビゼット B.インティ作曲『シャンソンとダンス』……………

<曲目紹介>

④スコット・ジョプリン作曲『エンタティナー』……………

休 憩 …………… 10分予定……………

演 奏
第 2 部 ⑤ベートーベン作曲 交響曲第5番『運命』ハ短調 作品67……………

花束贈呈

……………拍手多数の場合、アンコールがあります……………

記念品贈呈 日生町教育長 橋本 卓

終 演 …………… 15:30

お願い 演奏中の入退席、飲食などはつつしみましょう。

曲目解説

① モーツァルト作曲 (1756~1791)

歌劇「魔音」序曲 K. 620

この歌劇は、数多くの歌劇を作曲したモーツァルトの最期の年の作で、音楽的にみればモーツァルトの歌劇のあらゆる要素を盛り込んだ、総合的な古典歌劇の傑作であるといえる。

この歌劇は、1791年9月30日に、ウィーン郊外のヴィーデン劇場でモーツァルト自身の指揮によって初演された。この初演から2か月の後にモーツァルトはこの世を去っている。

初演の時、この歌劇の冒頭に演奏される序曲を聞いた当時著名な作曲家シェンクは、感激のあまり思わずモーツァルトに接吻したというエピソードが残っているほどの名曲である。

② モーツァルト作曲 (1756~1791)

ディヴェルティメント (女喜遊曲) 二長調 K. 136

オーストラリアのザルツブルクで生まれたヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトは、音楽史上でも特にきわだった天才として、幼い頃から神童ぶりを発揮した。

わずか3才で、姉の音楽の勉強をかたわらで熱心に聞き、あとで、自分ひとりで演奏したという話が伝えられている。

1772年、第2回目のイタリア旅行からザルツブルグに帰った16才のモーツァルトは、3曲のディヴェルティメントを作曲したが、いずれも、二つのヴァイオリンとヴィオラとチェロとコントラバスの五つのパートで作曲されており、弦楽五重奏の編成である。その中で、最もよく演奏されるのがこのK. 136の曲である。

③ ダンディ作曲 (1851~1931)

シヤンソンとダンス

ダンディは近代フランスの中心的な作曲家で教育者としても著名である。フランスの地方出身の貴族の家に生まれたが、出生の時の母を亡くし、4年後に父も失ったので祖母に育てられ、音楽の手ほどきも祖母から受けた。

後に作曲家フランクを知り、個人的に指導を受けるとともに、パリ音楽院に進みオルガンの科のフランク教室に入り、1等賞を獲得した実績をもっている。

その後、次第に作曲家として認められ、1887年には有名な「フランス山人の歌による交響曲」を発表し、創作の頂点に達した。「シヤンソンとダンス」は、管楽器による重奏である。

④ ベートーヴェン作曲 (1770~1827)

交響曲 第五番「運命」ハ短調 作品67

この交響曲は1807年の末か翌年の始めに完成されている。ベートーヴェン自身が、第1楽章の冒頭の動機を「かく運命が戸をたたたく」と言った、と弟子のシントラーによって伝えられて以来、この交響曲が「運命」というまことに劇的な題で呼ばれるようになり、人気を高める原因となっているようである。

この曲の有名さと人気は、演奏される回数が多いことから、おそらくすべての交響曲のうちで最高のものの一つであろう。

1828年にパリでこの曲が演奏されたとき、終楽章にはいったところ、**「これは皇帝だ」と叫んで踊りあがった老兵士がいたこと**から、しばらくこの曲が「皇帝交響曲」と呼ばれた、という話も伝えられている。

岡山県郷土文化財団

岡山県郷土文化財団は、私たちの手で郷土「おかやま」の美しい自然や先人たちから受けついだ文化遺産を大切に護とともに、伝統に根ざした新たな地域文化を創りあげてゆくため、昭和54年11月に設立されました。

発足以来、多くの方々の御協力をいただき「うるおい」と「やすらぎ」のある郷土づくりに役立てるため、各種の事業を実施してまいりました。これからも、県下各地域の皆様と手を携え、豊かな郷土づくりを目ざしてまいります。

一人でも多くの方々々に会員になっていただき、これらの事業に積極的にご参加くださるようお願いいたします。

★お願い 幼児の入場はご遠慮ください。 ◎お問い合わせは日生町教育委員会へ (0869) 72-1006